

子どもたちの反応は？

## 「楽しい！算数が好きになった！」

の音が・・・

### ◆児童の感想

- ・算数の垂直を調べる問題でよく分からなかったとき、友達が電子黒板を使って発表（説明）しているのを見たら、「なるほど」とよく分かりました。
- ・電子黒板を使って発表すると、考えを直接書き込んだりしながら説明できるのでとても便利です。
- ・学習ソフトを使って面積の学習をしたとき、動画で自分で操作しながら面積を減らしたり、増やしたりできてとても分かりやすかったし、算数の授業が楽しく好きになりました。
- ・タブレットで学習すると分からないことをその場で調べられるので便利だし、楽しく学習できます。次は、電子黒板で発表してみたいです。
- ・タブレットドリルは、間違えたところや分からないところを、分かりやすく説明してくれるのでよく分かりました。
- ・電子黒板は写真を撮って、写真の上に説明が書けるし、間違えてもすぐ消せるのがいいです。



▲体育の授業では、タブレットで撮影した動画をもとに、その場で話し合いながら、動きや技の課題点を見つけます。

▼リズムをつくる音楽の授業。真剣な眼差しでタブレットに書き込みをしています。



▲電子黒板は、ディスプレイの画面をタッチパネルで動かすことや、書き込みをすることも可能です。

**動画や写真で楽しく学習**  
 タブレットは簡単に動画の撮影ができ、その場で再生ができることから、小学校の体育の授業でも使用しています。  
 動画を確認することで、自分の動きを客観的に見ることができ、気が付かなかった新たな視点から課題の発見につながります。また、クラスの仲間たちと話し合いながら学習を進められるところも効果的です。

### ◆学校の先生の声

算数の授業でタブレットや電子黒板を活用した一番の成果は、児童が「よく分かった。」「算数の授業が楽しく好きになった。」と授業の最後の「振り返り」に書いてくれるようになったことです。学習ソフトを活用すると、ゲーム形式になっているため一人でも楽しく学習を進めることができます。電子黒板を活用した授業では、教科書を拡大し、大事なところにラインを引いたり、書き加えたりできます。また、児童のノートをそのまま投影して説明させるなど時間の短縮になり、多くの児童の多様な考えを取り上げ、比較検討に時間をかけることができます。今後もICTを活用し、

児童の「よく分かった。」「楽しい。」の声を増やしていきたいです。



茨城町立大戸小学校  
本田 香織 教諭

### 中学校の授業の一コマ



▲タブレットPCを使用して、図形を見せ合い、一緒に考える数学の授業。

▼英語の授業では、タブレットで回答。回答の集計が電子黒板に映されリアルタイムで確認できます。



▲タブレットPCは、ノートパソコンとしてもタブレットとしても、使うことができます。

**視覚的に理解できる学習**  
 中学校の数学「空間図形」では、生徒が一人一台、パソコンを利用し、画面に映し出された立体図形を自由自在に切ったり回転させたりして、立体図形の仕組みについて、視覚的に学んでいます。  
 このように、ICTの活用は思考や理解を深めるのにも有効です。

## ICT × 教育

# 教えて！ 町の学校教育

町では、学ぶ意欲と学習に対する興味や関心を深めるため、ICT（情報通信技術）を活用した魅力ある授業を進めています。



電子黒板

タブレット

Information and  
Communication  
Technology

# ICTの活用

ICTとは？

ICT（情報通信技術）とは、コンピュータやインターネットに関連する情報通信技術のことをいいます。ICTを使って学ぶ授業は、写真や動画などの学習教材を拡大して映せるなど、子どもたちが理解しやすい学習につながるとともに、興味や関心を深めます。

これから生きる子どもたちに

将来の変化を予測することが困難な時代を生きる子どもたちにとって、社会の変化に受け身で対処するのではなく、自ら課題を発見し、他者と協働してその解決を図り、新しい知と価値を創造する力を育成することが大きな課題となっています。

そのためには、子どもたちに「何を教えるか」だけでなく、子どもたちが「どのように学ぶか」という視点が重要です。「主体的・対話的な深い学び（アクティブ・ラーニング）」の視点で授業を改善し、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習を充実させていくことが求められています。これに併せて、学校現場においては、ICT等も効果的

に活用することが大切です。

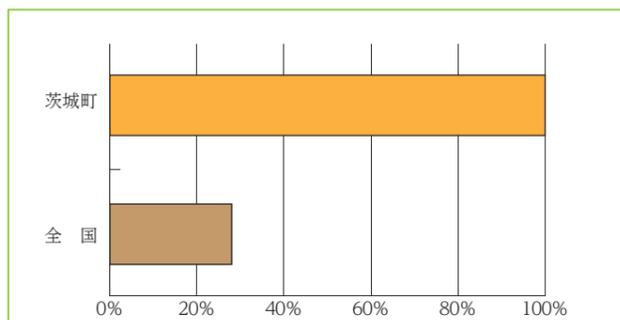
**日常的にICTを活用できる環境を全校に整備**

町では、町内全ての小・中学校に、無線LANを整備し、タブレットや電子黒板を導入しています。

全校で無線LAN環境が整い、タブレットが導入されている市町村は近隣でも少なく、町のICT教育は県内でも先進的な取り組みです。

整備状況はどのくらい？

学校の無線LAN整備率



町の無線LAN整備率は、100%となっており、全国平均と比べても高い状況です。ICT教育の授業では、この環境を活用した上で、電子機器を使用するため、無線LAN整備は重要となっています。